



緑薫る季節、屋外での歩行訓練、気持ち良いですね。

脳卒中、廃用症候群、認知症等個々の状態に応じた多職種からなるチームケアを行い、在宅復帰に努めます。自立した在宅生活が継続できるよう介護予防に努め、入所や通所、リハビリテーションなどのサービスを提供することともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し家族の介護負担の軽減に努めます。

家族や地域住民と交流し、情報提供を行い市

二〇一九年五月一日、新しい元号「令和」が始まりました。新しい時代を迎え、この「令和」という時代、利用者の皆様には、これまで以上に平和で生きがいをもって暮らしてもらいたいものです。気持ちを新たに、感謝と尊敬の念をもち笑顔で頑張つて参りましょう。

さて、我々介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人々、機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

具体的には、利用者の意見を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるよう支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に集中的な維持期リハビリテーションを行います。

それいゆ 広報

Vol.124

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック
TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ
TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ
TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ
TEL0577-34-5026
- デイサービスセンター べれる
TEL0577-36-7077
- Dr. Orishige ビオメゾン
TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れざみ
TEL0577-37-5666
- りあん・ど・それいゆ
TEL0577-32-8166

第三回介護教室

簡単！美味しい！ 手作りおやつと食中毒予防

～ずんだパフェで初夏を感じよう～

- 日時：7月7日（日）14時～15時30分
- 会場：介護老人保健施設それいゆ1階ホール
- 申込先：老健それいゆ（TEL0577-35-3030）
7月3日締切
- 先着15名様（参加費無料・エプロン持参）

※最後に美味しくいただきます！

町村自治体や、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体になったケアを積極的に担い、サービスの向上に努めます。

今後とも職員一同一丸となって、老健の様々なサービスの充実、レベルアップに努め、高齢者とそのご家族の皆様が笑顔で暮らせますよう、できる限りの努力をしていきたいと思っています。

今年度もよろしくお願いいたします。



新年度を迎えて

介護老人保健施設それいゆ
施設長 谷口 治

第二回介護教室（地域貢献事業）

『口腔ケアで肺炎予防』～どうしてお口が汚れていると肺炎になるの？～

四階看護主任 今井靖子
通所介護主任 白川浩代



今年2月24日（日）老健それいゆ1階ホールにて「口腔ケアで肺炎予防」と題して第2回介護教室を開催しました。

当日は、利用者様やその御家族様、近隣の皆様がみえ真剣に話を聞いて下さり質問をされる御家族もおられました。

はじめに口腔ケアの目的は大きく分けて2種類あります。1つは、口腔をきれいにすること、清潔にすることです。方法は歯ブラシによる口腔内清掃、義歯の清掃、口臭除去があります。また口腔の機能を回復すること、機能の維持・向上させることです。口腔の持つ機能には摂食・咀嚼・嚥下・

構音・審美性・顔貌の形があり味覚も含まれます。

次に口腔ケアの効果は、①唾液の分泌を促進する②全身疾患、発熱、感染症、糖尿病を予防③誤嚥性肺炎を予防④認知症を予防⑤転倒や骨折を減らす（嚥み合わせ）⑥総医療費の削減があります。口腔ケアの重要性が少しわかって頂けたのではないのでしょうか。

では今回の介護教室のテーマである肺炎予防についてです。肺炎は日本人の死亡原因の3位です。入院された高齢者の肺炎を調査した結果、80歳代の8割、90歳代の9割以上が誤嚥性肺炎だったというデータがあります。後期高齢者の肺炎はほとんどが誤嚥性肺炎だということになり、高齢者における気道感染の主な疾患として誤嚥性肺炎があげられます。誤嚥性肺炎とは、口腔内の唾液や細菌が誤って気道に入り込むことで起きる肺炎です。誤嚥は夜間に起こりやすく、誤嚥をしても「むせ」などの自覚症状がないことがあります。これを繰り返すと誤嚥性肺炎を起こします（不顕性誤嚥）。また胃の内容物が嘔吐により気道に入った場合にも誤嚥性肺炎を起こすことがあります。食前・食後の口腔ケアと食事時の誤嚥防止が大切です。

食べ物や飲み物あるいは唾液などを飲み込むことを嚥下と言います。健康な人であれば嚥下すると口から食道を通り胃に入って行きます。嚥下機能が低下すると食べ物などが口から気道に入ってしまう。これが誤嚥です。誤嚥性肺炎は細菌が唾液や食べ物などと一緒に誤嚥され気管支や肺に入ることによって発症する病気です。ちなみに嚥下機能は40～50歳から徐々に低下すると言われています。

しかし誤嚥をしても必ず肺炎になるわけではありません。①栄養状態が良好で体力があること②免疫力があること③気管・気管支に異物（食物・唾液・逆流した胃液等）が入った時に反射機能「むせる」「咳込み」があること④口腔が清潔であることが大きく関係します。口腔内の清潔が肺炎予防に大切なことがわかって頂けたのではないのでしょうか。

要介護高齢者において口腔の衛生状態を良好に保つことにより、QOLを著しく低下させる誤嚥性肺炎を予防することが報告され介護予防の視点からも注目されています。実際に口腔ケアを実施した人達と実施しなかった人達を比べると肺炎の発生率はおよそ40%減少したという報告があります。少し余談になりますが、口腔ケアを行っている施設と行っていない施設では行っている施設のインフルエンザの発生は1/10だったという報告もあります。

最後に、汚れた口腔は口腔内の感覚・味覚を低下させ食の楽しみが減退、喪失につながり嚥下反射を遅延します。また汚れた唾液により誤嚥性肺炎の原因になります。口腔ケアを行うことで唾液の分泌を促進し感覚、味覚が向上します。覚醒状態を向上することもできます。そして誤嚥性肺炎を予防できます。

当施設では食後の口腔ケアを重点的に行いQOLの向上と肺炎予防に努めております。

今後も介護教室を定期的で開催し、職員が日々の介護支援や研修から得た知識を情報提供し御家族様、地域の皆様との交流を深め、地域の中の施設として信頼を築いていきたいと考えております。



メンタルヘルス対策で『瞑想体験』

老健それいゆでは安全衛生管理を司る衛生委員会活動により、労働災害が起ころぬよう常日頃から全職員一丸となって安全に取り組んでいます。介護現場における高い離職率の要因として、人間関係や精神的ストレスも挙げられることから、最近では特にメンタルヘルス対策が重要と捉えられています。

楽しく仕事ができるためには、心と体が健康でなくてはなりません。特に心の健康は、私達とその家庭の幸福な生活、活気のある職場のために重要な課題であり、メンタルヘルス不調への対応だけでなく、職場のコミュニケーションの活性化など心の「健康づくり」



に取り組む必要があります。

そこで、私達が抱える様々なストレスの緩和対策として、産業界推奨の下、科学的にも認められている『瞑想』を体験し、生活の中に取り入れていくことができるように、『瞑想』の効果や行い方を知る瞑想体験講習会を千光寺住職大下大圓様を講師にお招きし、二百名余りの法人全職員を対象に三日間に分かれて開催しました。

春も時記

満開の笑顔と桜



4月18日
それいゆ中庭も満開の桜です



4月17日
デイケアの皆さん
国府の桜野公園でお花見とお茶会



飛騨総社例祭

5月4・5日
今年も獅子舞、鬨鶏楽、子供神輿が全フロアを巡って下さいました。ありがとうございました。



通所リハビリテーション

介護主任 白川 浩代

平素はそれいゆデイケアの運営にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、皆様は『KYT』という言葉を知っていますか。危険の【K】、予知の【Y】、トレーニングの【T】の略です。意味は字のごとく「危険を前もって予測する事を訓練する」という事です。

例えば、道路を歩いている時後ろから自転車 came とします。そんな時止まったり、端へ避けたりしませんか？それは自転車と衝突をする事の危険を予測し、前もっての行動をしているのです。

私たちの職場は高齢の方が大勢みえます。「床が濡れていると転んでしまうのでは？」「あそこに物があるとぶつかってしまうのでは？」などを前もって予測し、あらゆる危険から回避できるような努力をしています。

そのトレーニングを行うため、毎年全職員に向けた



勉強会を行っています。今年も五月に開催しデイケア職員も全員参加しました。

デイケアとしてしまは、転倒等の危険以外にも急変やちょっとした変化にも早く気付くことができるように心がけています。



毎回利用時、血圧や脈、体温の測定をはじめ、お薬手帳を確認し、各々の身体状況の把握に努めています。

毎週、何年間も通って頂くことにより、一層普段を知ることができ異変に早く気づくことができます。

利用者様の家族構成や事情なども踏まえ、より良い助言ができるように、そしてケアマネジャーなどの多職種とも連携を図りながらケアをしていきたいと思っています。

朝晩の気温差の激しい時期です。利用者様をはじめご家族様も体調を崩されませんようご自愛くださいませ。

デイサービスセンターれざみ

管理者 八賀 薫

平素よりデイサービスセンターれざみをご利用頂きましてありがとうございます。

また、機能訓練体験見学会には一般の方始め、各事業所の方々にも多数ご来場頂き重ねてお礼申し上げます。デイサービスとして利用者様のご自宅での生活に関わらせて頂く上で、食事、入浴、排泄の介護と同じくらい機能訓練が重要になって来ました。そこで昨年より新たにマシンを導入し機能訓練に生かしております。今回はご来場の方々にマシンを自身で体験して頂き様々な声を聴かせて頂きました。承った感想やご意見を今後のサービスに生かして行きたいと思っています。また、今後ご希望があれば個々に見学して



頂く事も可能ですのでお気軽にご連絡下さい。

今年度も利用者様に喜んで頂けるデイサービスとなる様努力すると共に、家族様、ケアマネジャー様、各事業所様と連携させて頂きます。



ケアプランセンターそれいゆ

管理者 寺田 歩美

【寺田】新年度を迎え、新しい元号「令和」も始まり、気分も新たに頑張りたいと思います。新年度の目標は【誠心誠意】です。それいゆのケアマネに頼んで良かったと言って頂けるよう誠意を持って対応し、精一杯努力していきます。



【井口】昨年度主任ケアマネの資格を取得しました。ケアマネとして働き始めて十年が経過。その間に二人の子供の出産・子育てを経てようやく資格取得の要件をクリアしました。主任ケアマネとしての求められる役割は大きく重圧に気持ちが落ち込むこともありましたが、一番は利用者様ご家族様に喜んで頂けるプラン作りを目指して精進していききたいと思います。

【鮎川】平成が終わり、令和の時代が始まりました。まだ実感がなく慣れない日々ですが、代替わりとともに気持ちも新たに仕事に向き合っていきたいと思っています。より一層成長できるように頑張りますので今後ともよろしく願っています。

【阪上】最近、ケアマネの人数が少なくなっていると聞きます。当事業所は五階にあり、何往復もする階段昇降が正直辛いところです。足腰を鍛え健康に気をつけ、これからもケアマネとして皆様のお力になれるよう、日々頑張りたいと思います。

【荒井】ケアマネジャー業務を始めて二年が経ちました。事業所内では勿論ですが、他事業所の人たちに助けられての毎日です。利用者さんは人生の大先輩だと思い自立支援のお手伝いをし、日々、自己研鑽の気持ちを忘れずにしたいです。

それいゆ訪問看護ステーション

理学療法士 大森 裕子

四月からそれいゆ訪問看護ステーションで働かせて頂いております。理学療法士としては約十年、そのうち六年間は訪問リハビリに携わってきました。しかし出産・子育てを機に仕事を辞めしばらく現場を離れておりました。今回久しぶりの仕事復帰となり、病院やデイサービスなど働く場所に悩みましたが、やはり私は訪問リハビリが好きなのでこちらを選びました。

私が思う訪問リハビリの魅力は利用者様が住み慣れた環境で穏やかに過ごしながらリハビリが提供出来るという事です。時には介護者の悩み等を聞きながら、いかに皆が心身ともに健康に過ごせるかを考えリハビリ支援を行っています。入院していた病院では出来ていた事が、退院して自宅に帰ると段差があったり介護者が一人だけで出来なくなったという事は多々あります。それぞれの利用者様の環境に合わせてより良いサービスが提供出来るよう日々精進して参りたいと思います。

その他にも福祉用具の相談や住宅改修を考えてみえる方には手すりの位置などのアドバイスも可能です。もしご利用を考慮してみえる方がおられましたら是非お声掛け下さい。よろしくお願致します。



ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 大洞 里奈

日頃はヘルパーステーションそれいゆをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。スタッフ一同心から御礼申し上げます。

今年もはや半年が過ぎようとしています。うっすらと汗ばむほどの陽気が、本格的な夏の近づきを感じさせています。季節の変わり目です。体調を崩されませんようお気を付けてください。

さて、五月には元号も『令和』となり、新たな時代が訪れました。ヘルパーステーションも新たなメンバーを迎えました。『訪問介護は基本一人で動かなきゃいけないし不安だと話していたのは夢だったのか：今では色々な経験が出来て楽しい』(M・Nさん)と言ってくれています。

新メンバーを含め、常勤四名、パート二名(一名産休に入ります)、登録一名、これからも感謝と思いやりの心を常に持ち、利用者様やご家族様の支えになれるよう、一丸となり日々精進してまいります。至らない点多々あるかと思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

新メンバー挨拶 中山 昌美

初めまして。四月より老健それいゆ通所リハビリテーションからヘルパーステーションに異動となり勤務しております。

訪問介護の仕事は初めてですが、利用者様やご家族様の気持ちに寄り添い在宅での充実した日常生活を送れるよう、知識・技術の向上に努めていきたいと思っております。どうぞよろしく願っています。

新メンバー挨拶 野島 尚子

五月よりヘルパーステーションそれいゆにて勤務することになりました。訪問介護のお仕事を本格的にさせていただくのは初めてですが、今までの経験や知識を活かして、在宅で安心して暮らせるお手伝いをさせていただきたいを思います。愛・感謝を忘れずに：どうぞよろしくお願致します。



デイサービスセンターべれる

介護福祉士 福島 明日香



二月からデイサービスセンターべれるに勤務しております福島です。

以前は他県にて介護の仕事をしていました。昨年九月に高山へ引っ越してきて、子供が幼稚園に入園したのを機に再び介護福祉士の資格を活かした仕事がないかと思い入社しました。

認知症対応型デイサービスでの勤務は

初めてで、更に飛騨の方言に慣れていない中、利用者様とどう接していいのかわからず悩んだこともありましたが、先輩方からお互いの「信頼関係」を築く事が大切だと教えて頂き、今まさに利用者様との信頼関係構築の真っ最中です。

今後は認知症介護における知識や技術を深めていき、利用者様への細やかな目配りと日々のコミュニケーションを大切にしながら、べれるの目標である利用者様・ご家族の「オアシス」になれるよう努力していきます。

りあん・ど・それいゆ

管理者 阿礼 由美香



令和元年五月一日…開設四年が経ち、五年目を迎えました。節目を迎えるにあたり、初心に戻り「りあん」とはフランス語で「絆」という意味を念頭に置き、「目配り・気配り・心配り」で関わる事で、利用者様ご家族・地域の皆様・りあんに携わっていただく全ての方々に、「安心・安全」にお過ごしいただけるよう精進してまいります。小規模多機能のサービスの概要は「通い」を中心に、希望に応じて「宿泊」「訪問」を組み合わせて「自宅での生活を継続」できるように必要な支援を行います。利点として、「通い」で顔なじみになった職員が「宿泊」「訪問」の際にも対応いたします。また、環境の変化に敏感なお年寄り（特に認知症の方）の不安を和らげることが出来ます。尚、ご見学・お試しは随時受け付けております。重ねて、一緒に働いて下さる職員も募集しておりますので、お気軽にお声掛けください。



シャロン・ド・それいゆ

管理者 牧田 功



新緑の頃、いつもご利用いただき厚く御礼申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援をお願いいたします。介護度に関係なく多様性のあるサービスの提供を期待される小規模多機能の事業所として、いろいろな利用者様のニーズに合わせて必要な対応ができるように職員一同、常に前向きに努めております。

シャロン・ド・それいゆは、「家族で介護が必要となった時」、「認知症かな？と心配になった時」介護度に関係なく必要なサービスを提供し、安心して在宅生活を送っていただけるように支援を行う介護サービスです。

《シャロン・ド・それいゆでの生活》

・認知症の利用者様も車いすの利用者様も皆さん一緒にコミュニケーションを取って過ごしていただいています。

・自立した方からベット上での生活の方、看取りまで対応しております。

シャロン・ド・それいゆでは、見学・相談を随時受け付けております。



Dr. O-rishige ビオメゾン

副施設長 折茂 いづみ

住宅型有料老人ホーム Dr. O-rishige ビオメゾンをいつもご利用いただきありがとうございます。
 ビオメゾンは、自立の方から要介護の方まで、いつでもご利用いただける施設です。

介護者の方の不在時のお泊りや、独居で怪我や体力の低下で、おひとり暮らしが不安の時、また癌の末期や食事が食べられず点滴を希望される等、医療依存度の高い方の受入れもしています。

この4月に新職員も増え、今年度の目標を「接遇の再確認」（介護サービス提供者としてご利用者様、ご家族様の信頼にこたえられる対応を行う）とし、ベテラン職員は初心に戻って介護の基本を再確認する。新しい職員は基本をしっかり身に付けることを目指します。

ご入居者様おひとりおひとりの思いやご希望を汲み取れるよう気持ちにそった言葉かけと、身の回りの支援を行い、ご家族にも「ビオメゾンを利用してよかった」と思っていたいただける施設となるよう日々努力してまいりたいと思います。

見学や体験入居のご相談等、介護でお困りの時は、お気軽にお電話ください。
 どうぞよろしくお願い申し上げます。

ビオメゾン 新職員紹介

○黒木 恵 (介護職)



今後とも、いつもでも初心を忘れず頑張りたいと思います。

○玉舎亜衣 (看護職)



仕事始めて一か月たち少し慣れてきました。まだまだ分からないことも多く周りのスタッフに教えてもらいながらこれから頑張りたいです。子供がまだ小さいので子供との時間も大切にしながら楽しく仕事していけたらと思います。



新緑の中 ライフに行きました♪



書道教室で新元号を書きました！

ショートステイそれいゆ

管理者 長瀬 千春

『ショートステイ』とは在宅の要介護認定を受けた方が老人短期入所施設に短期間入所して、食事・排泄・入浴などのお世話を受けていただく介護保険のサービスです。

サービスの提供を行う中で、ご利用者の心身・生活の状態を把握できると共に、他サービスにはない夜間も含めた状態観察を行うことができます。

ショートステイそれいゆでは、退所時にご家族宛に、ご利用の様子・状態等をお伝えする文書をお渡ししています。

又、退所や送迎の際に、ご家族に施設での様子を直接説明させていただいています。看護職員・介護職員・生活相談員などそれぞれ専門職として、介護についての助言や提案をさせていただくこともあります。ご家庭での介護の参考にさせていただけると幸いです。



在宅生活を継続させるために、介護の代替としてショートステイはなくてはならない支援と、思っていたことができていく所存です。





【自己紹介】
趣味…絵を描くこと・スキー
好きな食べ物…もも・茶碗蒸し

この度、四月から病児保育室プティ
それいゆで保育士として働くことにな
りました。長谷と申します。
病児保育は子どもが安心して静養で
き、健康と幸せを守る場所であると同
時に、保護者の方も安心してお子さん
を預けられるよう子育てを支援する場
所であると思っています。
そんな病児保育室で働けることに、
とても大きなやりがいと責任感がある
と思いますし、毎日違うお子さんを預
かるからこそ、子ども達一人ひとりの
個性を大切にしたい保育看護ができるよ
うに心掛けたいです。
まだまだ未熟で至らない点もありま
すが、利用されるお子さんが安心して
充足した一日を過ごせるように、先輩
方のご指導のもと多くを学び吸収して
いきたいと思っています。どうぞよ
ろしくお願致します。

保育士 長谷 芽韻子

病児保育室プティそれいゆ

第10回

レザミひだメディケアガーデン夏祭り

令和元年 7月7日（日） 10:00～15:00

「夏祭り!!願いがかなう星祭り」



今年は、私たちの未来を担う子供たちを
中心に考えてみました。

☆彡☆彡 星に願いがかなうように… ☆彡☆彡
短冊に願い事をたくさん書いて笹に飾りましょう!!



★バザー：飛騨牛すじカレー・温玉つき温かいうどん・ラーメン・カットフルーツ

エム・ドウの教室でバレエを学ばれてる、
小中学生20名の皆さんがバレエを披露してくださいます。

★★皆様のご来場をお待ちしています★★



調にお気をつけ下さい。

編集
後記

元号が改まり、令和
元年が始まりました。
皆さんは、どんな想い
で迎えられたのでしょ
うか。

五月二十四日、名古屋にて介護老人保健施設それいゆは、公文教育研究会学習療法センターより【実践モデル施設】として委嘱状をいただきました。当日は学習療法が誕生した施設でもある福岡県大川市の道海永寿会総所長山崎律美さんのお話もありました。伊藤副社長との対談形式で、学習療法導入当時のエピソード（県職として障害児施設で働いている時、周囲の反対の中、障がい児に公文教材を提供。子ども達がいきいき楽しんで学習する姿にスタッフも驚く程であった、学習療法誕生での関わり…）から始まり、運営されている二十余りの施設（老健、特養等）において、年に一回、各事業所が参加する学習療法の実践発表会を開催していること、学習療法の日報や記録から利用者さんのケアにつなげている、学習療法はスタッフの人材育成にも繋がっている、等。ゆったり穏やかに話されましたが、その言葉は一つ一つに重みがあり、二十年近い介護・いい施設を常に考えておられる内容にとっても感銘を受け、私達も頑張りたと思います。同仁会として各事業所、部門ごとにそれぞれ業務体制を改めて検討し、地域の皆さんにより信頼して利用して頂ける施設として研鑽をしまいいま